

長沼地区の生涯学習推進について

長野市教育委員会 家庭・地域学びの課

1 長野市長沼交流センター



施設概要	
施設名	長野市長沼交流センター（複合施設:長沼支所）
所在地	大字穂保941番地
施設構造	鉄骨造 平屋建て（昭和58年2月開設）
延床面積	840.28㎡（交流センター:729.98㎡、支所:110.30㎡）
会議室等	会議室（大、小、和室大、和室小、ホール）、調理室、図書室

2 指定管理者及び指定期間

- ◆指定管理者：長沼地区住民自治協議会
- ◆指定期間：平成31年4月1日～令和4年3月31日（3年間）

3 令和元年東日本台風災害

令和元年東日本台風の記録的な大雨の影響で、長沼交流センター付近の千曲川左岸堤防が、70メートルに渡って決壊し、長沼支所及び長沼交流センター等が被災した。

【施設が被災し壊滅的な状態】



長沼交流センター事務所

1 仮設長沼支所 (令和2年5月11日開所)



仮設長沼支所
交流スペース

家庭・地域学びの課の職員1名が仮設長沼支所に常駐し、仮設長沼支所交流スペースを中心に、近隣の交流センターや公民館を利用し事業を実施。

1 復興支援コンサート

『お届け芸術館』7月25日（土）

東部文化ホール 午後2時～3時



長い間、コンサートができなかった演奏者の熱い思いと迫力のある演奏に、「復興に向けた忙しい日々であるが足を運んでよかった」「皆さんの思いが伝わった」「頑張ります」「癒された」「感動的な演奏だった」等の感想をたくさんいただいた。

2 子育て支援『すこやか子育て教室』

8月～3月 全8回 午前10時～11時30分

当初7月からの開催であったがコロナ禍の影響で、8月からの開催になった。
(詳細は別紙資料を参照)

3 子ども体験教室

『夏休み特別企画 ステンドグラスを作ろう！』

8月5日（水）午前9時30分～午前11時 10人参加



学びの課職員2名で担当

『クラフトバンドで小物入れを作ろう！』

9月25日（金）午前9時30分～午前11時
10人参加



生涯学習事業（共催事業）

1 『いきいき教室』7月13日（月）～8月27日（木） 全4回
 午前9時30分～午前11時30分 毎回15人前後の参加者



第1回 笑いヨガ等



第2回 パステルアート作り



第3回 みそ玉作り



第4回 音楽療法 楽器演奏等

住自協の福祉ワーカー（昨年まで交流センターの職員で講座企画・運営を担当していた）と、
 学びの課職員1名とで担当



2 『犀川カヌー体験』

8月11日（火）午前8時～午後16時20分

小学校5, 6年生 8人参加

育成会、住自協役員等 8人参加

※ 支所職員 1名、学びの課職員 1名付き添い

3 子育て支援 「りんごっこ広場」

毎月第1、3、（5）火曜日 午前9時30分～11時30分

交流スペースを開放し、未就学児の親子に安心して遊べる場を提供し、親同士の交流も深めてもらう目的で8月からスタートした。回数も多く気軽に立ち寄れる利点があるが、避難している所からの参加はなく、今のところ少人数の参加に留まっている。

※ 福祉ワーカーと学びの課職員 1名で担当

11月、12月は、リンゴ農家にとって繁忙期（成人向けの講座は例年少なくしていた）



農閑期をねらい、体を動かしたり物づくりを楽しむような講座を計画

一方で、子ども・成人に限らず、堤防の決壊があったすぐ近くの仮設支所に行くのは、被災の当時を思い出しつらくなるので行きにくい、という声がある。また、被災の際に自家用車が水没してしまい、その後は購入しなかったり免許を返納したりして、仮設支所までの交通手段がないという声もある。



講座によっては各地区の地域公民館（名称は長野市の農民館、穂保研修センター、津野公会堂、赤沼公会堂、北町集会所）を会場に実施することも考えていく。

地区の役員の方々と協働して講座運営も考えていく